

## 学校評価アンケートのご意見に対する回答

- ・いつも子どもたちのことを気にかけてくださり、本当にありがとうございます。子どももやっと慣れたのか、朝の登校も一人で行けるようになりました。担任の先生や校長先生、教頭先生方が声をかけてくださっていたおかげだと思っています。これからもどうぞよろしくをお願いします。
  - ・特にありません。いつもありがとうございます。
  - ・特にありません。満足しております。
  - ・今年は、コロナでいろんな行事が中止になりましたが、来年は、また楽しく学校行事ができたらいいなと思います。
  - ・今年は授業参観も少なく、兄のクラスの部長ということもあり、一度しか子どものクラスに入れませんでした。学級通信や担任の先生とお会いした時などに、細やかに子どもや学級の様子を教えていただいたので、安心して送り出すことができました。子どもも学校での様子を楽しそうに話してくれるので、充実しているのだと思います。学校通信では、学校全体の様子がわかりやすく載せてあり、ありがたいです。
  - ・ルールを守り、思いやりの心をもって行動する。笑顔であいさつができて、ありがとう、ごめんなさいが言えるようにする。
  - ・細やかなフォローをしていただきありがとうございます。他と比べるのではなく、子どものレベルに応じて、しっかり頑張れたところはほめ、もう少し頑張れそうなところは背中を押していただいているので、安心して学校に送り出しています。先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。今後ともどうぞよろしくをお願いします。
  - ・何かあった時、先生に親身になって対応していただいて、子どもたちへの温かい声かけや励ましの言葉、たくさん愛がある素晴らしい先生です。
  - ・先生が親身に話をしてくれ、親子ともに安心して過ごせています。
- 新型コロナウイルス感染防止のために密を避けたり、時間を短縮したりして細心の注意を払いつつ、2学期から学校行事や育友会活動、授業参観や学級部会等を再開してきました。子どもたちも感染予防のために手洗いやうがい、手指消毒、マスク着用をしっかり守って、勉強や運動、係活動や掃除などに一生懸命に取り組んでいました。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。
- 学校では、複数の教員目で子どもたちを観察し、よいところを認め、ほめるようにしてきました。また、子どもたち一人一人の心に寄り添い、人権に十分配慮をしながら、個別に指導を行ったり、全体に指導を行ったりもしてきました。今後も継続して、子どもたちには、「どこがよくて、なぜよかったのか」や「どこがよくなって、なぜよくなかったのか。また、どうすればよかった（よい）のか」等、具体的に、指導の機会を逃さないようにして、振り返ったり、自分と重ね合わせたりしながら考えさせて指導を行ったり、児童理解の方法や指導の方法について、文部科学省や長崎県教育委員会からの指導資料等を参考にして研修を深めてまいります。

- ・家では、声かけしてもなかなか宿題に取りかかることができず、先生から放課後学習室を勧められ、子どもも概ね宿題を終わらせて帰ってくるようになりました。何度も声かけする親のストレスと「宿題。宿題。」と言われる子どものストレスが減少したように思います。親の課題になっていることも一緒に考えて提案してくださるので助かっています。

- ・なかなか勉強に意欲がなくて心配です。少しずつでも伸びてくれるといいですが。これからもご指導よろしくお願いします。

- ・帰宅後、宿題をせずに携帯ゲームを持って遊びに来る子がいます。そのことで、最近トラブルがありました。

→家庭学習の習慣化は基礎学力の定着を図るためにとても重要です。学校からは、学年の発達段階に応じて漢字や計算練習、音読、自主学習等を課したり、週末には、プラス1（ワン）としてプリントを配付したりしてきました。また、学期に1回、生活リズムチェックカードを活用し、早寝・早起き、朝ご飯、メディアコントロールにも取り組んだり、各学級部会で決めたテーマや内容に基づいての取り組みも行ったりして、学校と家庭とが連携して子どもの学習習慣や基本的な生活習慣の確立に努めてきました。

→子どもたちのスマートフォンやタブレット、ゲーム機の使用については、学校でも指導を行ったり、学級部会の話題に取り上げたりして意識の啓発を行ってきました。各家庭でも、ぜひお子様と相談をして「我が家のルールを」決め、それにしがたって行動することができる自制心を身につけさせてほしいとおもいます。

- ・時々、泣いて帰宅したり、しょんぼりして帰宅したりすることがあります。気づいた時は、話をしたりしますが、その時に気づかず、しばらくして泣いて話をしてきたりします。学校、クラスでも先生側からそういう思いをしていないか、何か気になることはあるか、定期的に話ができる時間を作ってほしいです。なかなか親に話せない子もいると思うので。

→学校では、子どもたちの表情や行動の変化、友達関係等を観察したり、子どもたちの会話を聞いたりして、日頃からアンテナを高く、広く張り巡らし、できるだけ見逃さないように努めています。

→学期に1回、いじめアンケートを子どもと保護者に実施をしたあと全員に面談を行ったり、気になる子については個別に詳しく聞き取りを行ったりして、いじめや困り感の早期発見・早期解決に努めてきました。今後も気がかりなことがあったらすぐに相談できる信頼関係の構築にも努めていきます。

- ・今年度は、学校行事等も減り出向く機会が少なかったため、学校内の様子等、評価がつけにくいので空欄のままにしました。質問の「子どもは～」というのは、自分の子のことでしょうか、五小の子どもということでしょうか。毎回悩むのですが。

→保護者の願いや思い、気づきなどの率直なご意見を広く聞いて学校経営に生かすために、我が子、五小の子と限定せずにアンケートを実施しています。項目に応じて自分のお子様を思い浮かべたり五小の子どもを思い浮かべたりして回答をしていただきたいと思います。また、そのように評価した理由等を記述欄に記入していただければと思います。

・昨年よりホームページが少ない気がします。

→学校のホームページを楽しみにして見てくださっていることはとてもありがたいことです。今年度は、見たいときにさっと、見ていただけるように学校だよりを多く発行してきました。印刷をしての発行のメリットは、以前の学校だよりと比較をして、見比べたり、振り返ったりすることが容易なことです。また、学校の教育活動や子どもたちの活躍、成長の様子をマスメディアをお持ちでない方にも知っていただくために、学校だよりを各町内ごとの回覧板でも回覧していただいています。

・子どもの通学路で、道路の白線が消えているところがあるので、道路の整備を市に呼びかけてほしい。安徳駅から国道251号線にかけて下る道路は、30年たってもそのままである。

→お知らせありがとうございました。島原市の関係当局にもお願いをし、整備をしていただくようにします。

- ・授業参観などで保護者が運動場に車を止めるようになっていますが、以前は、海側、校舎側ときれいに二手に分かれて駐車されていたので、出入りもスムーズにできていました。しかし、数年前から出入りする真ん中にも駐車する車が目立つようになり、出庫がなかなか難しく、迷路のように空いているところから出なければいけないようになってしまっています。子どもたちもどこから出てくるか予想がつかないので非常に危険です。ぜひ、全保護者に呼びかけてほしいと思います。出入りするところとは、梅園通りから体育館横に入る道のことです。そこの道から運動場反対側のすべり台まで、以前は誰も止める人がいませんでした。

- ・保護者が運動場に車を止める際、出入りがしやすいように運動場の真ん中を空けてほしいです。中央まで止める方がいらっしゃるので、迷路のようにうろうろと回らなければ出られないこともあるので危険です。プリントでもいいので呼びかけをしてほしいです。

→多くの保護者の皆様に授業参観や学級部会に参加していただいていることに感謝いたします。このご意見をいただきまして、授業参観・学級部会開催に案内に駐車の方についての文言を記述するよういたしました。今後も継続するとともに、育友会長とも相談をし、育友会総会や常・代議員会等の機会にも保護者へ啓発を行っていきます。

- ・朝、あいさつをしています。とても元気よく、そして美しい姿勢で返事をしてくれるので気持ちがいいです。こういう五小の児童がもっと増えてくれることを願っています。

- ・立哨当番の時、あいさつをしない（返さない）子どもの姿が見られました。

→今年度は、「いつでも どこでも だれにでも 大きな声で 自分から」を合言葉にして子どもたちに指導をしてきました。あいさつや返事が上手だ、しかも姿勢が美しいというご意見はとても嬉しいです。反面、まだまだ十分でないというご意見もいただいております。できる子とそうでないこの二極化が見られるようです。学校でも道徳や学活等の授業で取り上げて指導を行うとともに、上手にできている子を認め、ほめて励ましお手本となってその輪が広がっていくように指導を行っていきます。家庭や地域でも、まずは大人が手本を見せるという気持ちであいさつの励行をお願いします。

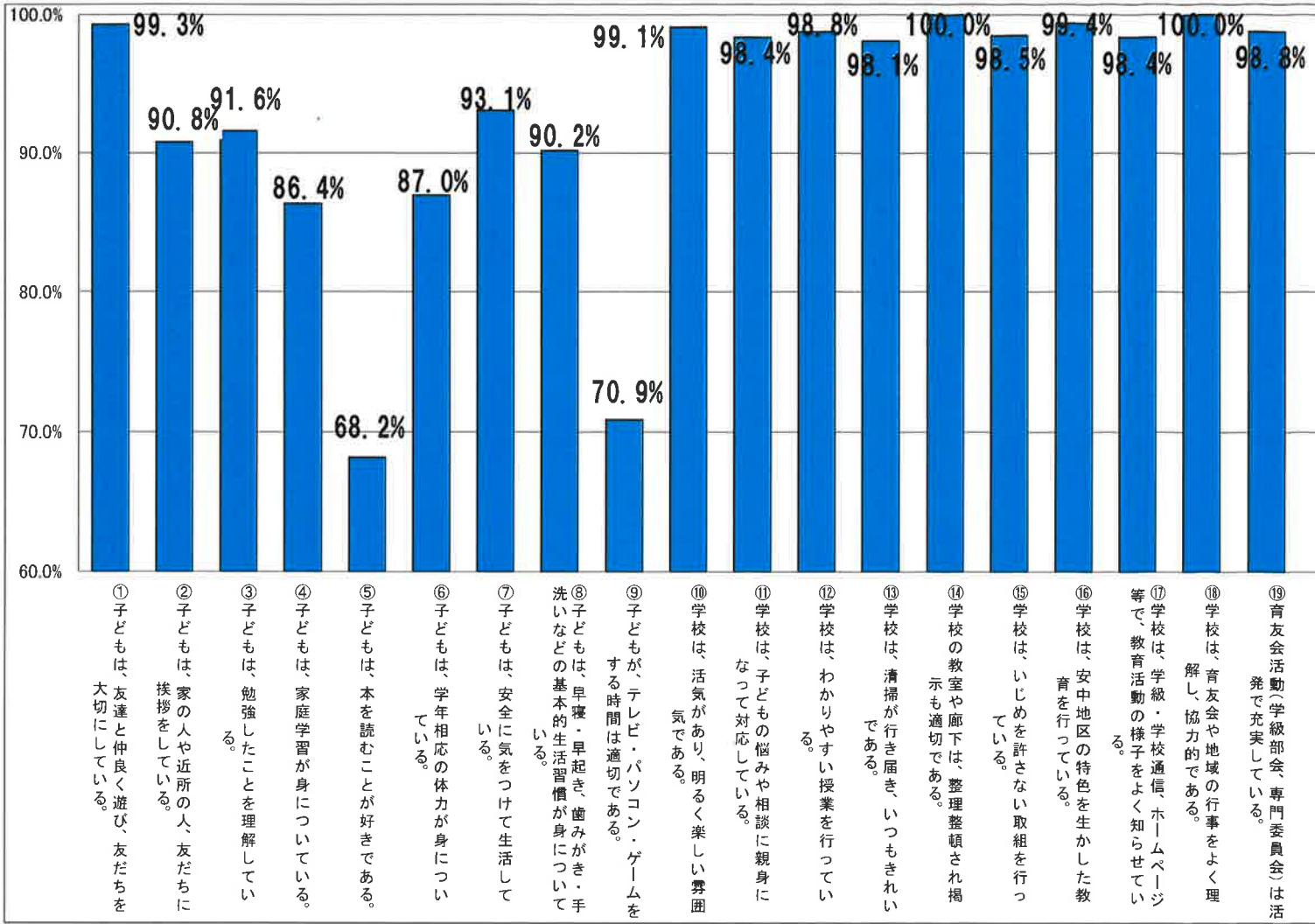
- ・この時期、17時を過ぎると外が真っ暗になりますが、それでも遊んだり、自転車に乗ったりしている子どもたちを見かけます。その子たちは、公園で遊ぶ時、お菓子を食べるとゴミを公園にポイ捨てし、自宅から持ってきた遊び道具も公園に放置です。その家庭内のしつけが問題だと思いますが、よければ学校の方でも注意や指導をしていただければと思います。お手数おかけしますが、よろしくをお願いします。

→帰宅時刻、遊び場所や遊び方、後片付け等については、学校でも継続して指導を行っていきます。

- ・保護者が参加する行事は、早めに教えてほしい。（1か月前ぐらい）

→毎月、中旬に翌月の行事予定について話し合いを行います。決定しだいお知らせをするようにしてきました。年間の大きな行事につきましては、年度当初に配付します育友会総会資料に掲載をしております。あくまでも目安ですが参考にいただければと思います。

# 12月実施 学校教育活動に関するアンケート 肯定的割合



令和2年9月15日

保護者 様

島原市立第五小学校  
校長 野中 邦明

## 令和2年度前期「学校評価・保護者アンケート」のご意見に対する考察 及び集計結果について

白露の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、7月に実施いたしました「学校評価・保護者アンケート」のご意見に対する考察及び集計が終わりました。良かった点は、今後いっそう伸ばしていくとともに、問題点や課題につきましては、全職員で共通理解を図り、一つ一つ良い方向へ改善していく所存です。

今後とも、本校教育の充実・発展のため、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

### 記

- 1 保護者アンケート実施対象：児童数で実施 回答数 320 / 323
- 2 グラフは肯定的割合を百分率（%）で表しています。（無回答を除く）  
肯定的割合は、4段階評価の「4もしくは3」と答えた人数を回答者数で割ったものです。

### ○保護者のご意見に対する考察

- ・学校については、行く機会もなくわからないので、未記入で失礼します。
- ・コロナの影響で入学式以降、学校へ行く機会がなく、学校の雰囲気などわかりにくい項目がありました。
- ・10、11、12、13、14、18に関しては、コロナで部会、参観もないので、適当には書けません。申し訳ありません。
- ・今回は、学校に行く機会がないので、判断しにくいところもありました。
- ・今年度は、まだ授業参観が行われていないので、学校での生活がどうなのかわからないので、なるべく早く授業参観をしてほしいです。
- ・コロナの影響でなかなか教室や学校全体的に見せていただく機会がないことがとても残念です。コロナが落ち着き、より学校行事に参加できる日が楽しみです。子どもはとても楽しく学校へ行っていますので安心してしています。
- ・子どもが勉強したことをあまり理解していないように思われます。また、授業参観もなく、子どもの学校での様子が全くわかりません。他の小学校では、授業参観もあったと聞いています。ぜひ、授業参観を実施していただきたいと思います。子どもたちの授業中の態度等を見たいと思います。よろしく願います。
- ・前年度終わりから今年度に入り、学校の様子や活動が縮小・中止等によりアンケートの一部が未記入となってしまう申し訳ありません。子どもが友達と一緒に学んだり、遊んだりすることができることに感謝しています。ありがとうございます。
- ・本年度に転校してきましたが、コロナのこともあって学校のこと、育友会、地域のことなど把握していないこともあります。今のところ不満や不安なことなく登校できています。ありがとうございます。
- ・コロナで行事が少なくなり、学校に親が行くことがほとんどないですが、娘は学校にしっかり行けるようになったのが安心しました。本当にありがとうございます。末っ子に手がかかり、寂しい気持ちやもういいやという気持ちになっていないかと思えます。私が、甘いところがあるので、しっかりしなきゃと思えます。すみません。

- ・学校での様子や授業でのつまずきなど、具体的に知らせてくださるので、家庭でも子どもに声をかけたり、一緒に考えたりする機会となり、ありがたいです。子どもも楽しそうに学校での様子を話してくれるので、親としても安心して学校へ送り出しています。先生方の温かいサポートのおかげです。ありがとうございます。
  - ・今年度、授業参観等がなく、学校へ行く機会が減りましたが、子どもたちは、楽しく元気に学んでいるようで、学校での様子をよく話してくれます。先生方のサポートが充実しているので、大変ありがたいです。感謝、感謝です。
  - ・親の許可なく、学童にも連絡を入れず、何回も時間に遅れるというのはいりえないと思います。
  - ・特にありません。娘は学校が楽しいようです。
  - ・今後も子どものことよろしくお願いします。
  - ・今後ご指導よろしくお願いします。
  - ・教科によっては、スクリーンを利用する際、拡大されておらず、画面が見にくいことがあるようです。使用される場合は、フルスクリーンでやっていただくとありがたいです。
  - 新型コロナウイルス感染症から子どもたちを守ることを最優先に考えて、1学期は学校行事や育友会活動、授業参観や学級部会等の中止や延期、自粛をお願いしてきました。学校での子どもたちの学習や生活、活動の様子等を直接ご覧いただく機会がなかったことをご心配をおかけいたしました。保護者や地域の皆様のご理解やご協力のおかげで、これまで第五小学校の関係者からは、感染者がでておりません。引き続き、感染防止に努めつつ、2学期以降は、学校行事や育友会行事等を密を避けたり、時間を短縮したりする等の工夫をしてできる限り実施していくことにしております。
  - 学校では、「授業で勝負する教師」をめざし、子どもたちが「できた」「わかった」を実感し、笑顔があふれ、自己有用感に浸れるようにと毎日の授業に努めています。
  - 五小は、平成30年度から3か年の市の指定を受けて算数科の研究に取り組んでいます。子どもたちに学力をつけるために指導方法の研究を全職員で一丸となってい、授業改善を行い、教員一人一人の指導力の向上にも努めています。
  - 教育機器やデジタル教材を有効に活用し、子どもたちにわかりやすい授業づくりに努めてまいります。また、機器の使用の仕方については、教員で研修を行ってまいります。
  - 基礎学力の定着や家庭学習の習慣化を図ることを目的に、漢字・計算練習、音読、自主学習等を学年の発達段階に応じて課しております。また、週末には、プラス1（ワン）としてプリントを配付したり、学期に1回、生活リズムチェックカードを活用し、早寝・早起き、朝ご飯、メディアコントロールに取り組んでいます。
  - 子どもたちの下校時刻については、安全面や学童の迎え等を考慮し、時間を守るようにしていきます。
- 
- ・学校の様子や状況については、あまりよくわかりません。すみません。また、学校に対して意見や気づきを書くアンケートが記名様式だと書きにくいと思いました。1つだけ、児童を指導なさる際、みんなの前で一人に対して指導を行われることに、少し抵抗を感じるのはいりだけでしょうか。
  - ・子どものクラスではありませんが、隣のクラスで、よく問題(?)が起きているのか、よく話してきます。まだまだ言葉で上手に伝えられない年頃で、すぐ手足が出ることも多いのかなと思います。学校内でのマナー、友達との関係の築き方等、指導してもらえるとありがたいです。先生方も大変だということは重々承知していますが、よろしくお願いします。
  - 保護者からの率直なご意見を真摯に受け止め、学校の経営方針や授業改善、教師の指導力や子どもへの対応力、子どもたちの健全な育成、保護者や地域の連携等の様々な点に生かし、取り入れていけるように以前から記名式とさせていただいております。また、アンケートへの回答によっては、個別に対応をし、解決しております。

→学校では、複数の教員の目で子どもたちを観察し、よいところを認め、ほめるようにしています。また、子どもたち一人一人の心に寄り添い、人権に十分配慮をしながら、個別に指導を行ったり、全体に指導を行ったりしております。子どもたちには、「どこがよくて、なぜよかったのか」や「どこがよくなって、なぜよくなかったのか。また、どうすればよかった（よい）のか」等、具体的に、指導の機会を逃さないように、振り返ったり、自分と重ね合わせたりしながら考えさせて指導することが教育効果を高めます。今後も児童理解の方法や指導の方法については、文部科学省や長崎県教育委員会からの指導資料等を参考にして研修を深めてまいります。

・雨の日に靴が濡れるので長靴をはいて行くように話をしますが、「靴箱に入らないからはいていかない。」と言います。長靴が置ける靴箱あるいは置いていい場所がありますか。

→雨の日でも頑張って徒歩で登校するように励ましてくださっていることに感謝します。靴箱が古い規格で、長靴が置けないことを申し訳なく思います。長靴を横にして入れたり、靴箱の上に置いていいように指導をしたりしていきます。また、長靴が入るような大きさに変えられないか教育委員会とも相談を行ってまいります。

・よいあいさつをしてくれる児童がいて、すがすがしい気持ちになり、近所のご年配の方も「気持ちのいいあいさつが家の中まで聞こえてきて、大変気分がいい」と笑顔で話されていました。一人でも多くの元気な子が増えるとうれしいです。通学路で車道に出ないようにしてほしいです。

→大変嬉しく、ありがたいご意見です。人と人とのふれあいは、言葉によって深まっていきます。その最初の一歩があいさつの言葉でしょう。学校では、「いつでも どこでもだれにでも 大きな声で 自分から」を合言葉にして、全職員で共通理解を図って指導を行っています。また、生活委員会が毎週木曜日の朝、1棟と2棟の児童玄関に立ち、登校してきた友達にあいさつ運動を行い、あいさつの輪を広げています。家庭や地域でもあいさつの大切さを、大人がよい手本を示して実践し、ほめて認め、励ましていただきたいと思えます。

→子どもたちの登下校については、常に交通ルールを守ることや寄り道をしないで決められた道を歩いて登下校すること、不審者に気をつけ、できるだけ一人にならないようにすること等を指導しております。今後も、学年の発達段階に応じて、具体的に、わかりやすく指導を行ってまいります。

・正門の見守りカメラの向きですが、入口（坂）のところが写ってなく、うさぎ小屋の方を向いているのですが、左側を写しているのでしょうか。

→正門のスロープは、交通事故防止のために、子どもたちは登下校時に通ってはいけない決まりにしています。したがって、正門の見守りカメラやセンサーは、1棟の脇を通過した際に反応するようになっています。ですから、うさぎ小屋の方を向いています。

・放課後だったり、休日だったりなのですが、何人かで集まって遊んだりするのはいいと思うのですが、不燃物などを持ち出し、遊んだ後、そのまま片付けもせず、放置していき子どもたちがいます、大雨が続き、水たまりができ、遊んだりもしていたようですが、真横に車が停車しており、その車は泥水がかかり、すごく汚れていました。もう少し、考えて遊んでほしいです。放課後や休日なので、保護者の責任だと思うのですが、目にあまるものがありましたので、よければ注意していただければと思い書かせていただきました。ご迷惑おかけして申し訳ありませんが、よろしく申し上げます。

→子どもたちの遊びや遊ぶ場所については、「危ない遊びでないか」「遊んでいい場所なのか」等を考えて遊ぶように指導しています。「地域の子どもたちは、地域で育てる」の意識で、見かけた場合は、注意をしてくださり、学校へ連絡をしてくださるようお願いいたします。



# 肯定的割合

